

令和 6 年度 自己点検・学校評価報告書

令和 6 年度の自己点検・評価について、本学院は教育機関としての社会的責任と情報公開の重要性を重視し、学校評価の一環として、ここに記します。

令和 7 年 6 月 25 日
医療法人高寿会 近畿リハビリテーション学院

評価項目

- I 教育理念・目標・方針
- II 学校運営
- III 教育活動
- IV 学修成果
- V 学生支援
- VI 教育環境
- VII 学生の募集と受け入れ
- VIII 財務
- IX 法令等の遵守
- X 社会貢献・地域貢献

自己評価

評価の観点：充分達成できた=A、概ね達成できた=B、やや不十分である=C、あまり達成できなかつた=D、達成できなかつた=E

評価項目	指標	5段階評価	評価内容
I 教育理念・目標・方針	教育理念・目標が明文化され、公表されているか	A	本学院は専門職として保健・医療・福祉領域における社会的責任が全う出来るよう、教育理念に則り、単科の有利性を活かして質の高い理学療法士の育成を目指している。 教育理念は本学院ホームページやパンフレットにて明文、公表し、周知に努めている。
	理念の達成に向けた教育方針への取り組み	B	
II 学校運営	理念に則った運営方針が示されているか	B	教育理念、目標、現在の社会情勢を踏まえ、毎週教職員会議を実施して教職員で周知している。
III 教育活動	理念・目標に沿った教育目標が設定されているか	B	本校教育理念を遵守した教育を行っている。成績評価は学生便覧に記載し、学生に配布をして周知に努めている。また、評価内容については講義要旨や講義開講時に説明し周知に努めている。教員研修は教員研修会や学術研修会等に参加している。教育力向上のため、終講時に授業評価や教員評価に取り組む。臨床実習において演習講義で各期実習対策を行い、実習前評価と実習後評価を行い、臨床技能習得を図っている。
	成績評価を明確にし、適切な指導を行っているか	A	
	教員の質向上に向けての体制を整備しているか	B	
	臨床実習の適切な実施と支援体制を整備しているか	A	

IV 学修成果	国家試験の合格率	B	令和6年度卒業生の内、第二理学療法学科(夜間部)の新卒者の国家試験合格率が100%であったので、一定の学修成果が得られた。 但し、第一理学療法学科(昼間部)の合格率が伸び悩んでいる点が今後の課題である。
V 学生支援	退学率の低減対策	C	早期から小人数での学生支援制度であるチューター制度による学習支援や早期臨床体験を実施し、興味関心を深めるように努めている。進路や学業に不安を抱く学生については面談を重ね、問題点の改善が図れるように取り組んでいる。
	学生の学習面、経済面、健康面での支援体制を整備しているか	B	
VI 教育環境	教育に対応した設備の点検・整備を行っているか	B	機械器具教材の整備・点検について、全てに対しては実施出来ていない状況ではあるが、現在、順番に点検を行っている。但し、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める、学校として整備しておかなければならない備品等については、全て点検・整備を完了している。 また学内の全照明設備を点検し、教室や共用部など学内ほぼ全ての照明設備を蛍光灯から最新のLEDに交換し教育環境の改善を行った。
VII 学生の募集と受け入れ	適切な広報活動の実施 選考基準を明確にし、適切に実施しているか	B	各種進学サイト等への掲載、積極的なオープンキャンパス等の開催を行い、本校の周知を行っている。希望者にはオンラインで対応する等、柔軟な広報活動や入学者の選考を行っている。オープンキャンパス等の参加人数は受験者数に比例する為、いかにして参加人数を増やすかが課題である。
VIII 財務	財務基盤の中長期的な安定性は保たれているか	C	学生確保と退学者防止が財務の安定性に繋がるため、より一層の改善への取り組みが必要。
IX 法令等の遵守	法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営が行われているか	A	法令等を遵守した学校運営に努めている。

X 社会貢献・地域貢献	積極的な社会貢献・地域貢献活動を行っているか	A	地区自治会に加入し、地域の美化活動等の協力をやっている。今後も地区自治会と協力出来る事があれば積極的に協力をやう。また、本校から理学療法士の国家資格取得者を輩出することが社会貢献に繋がるものと自覚している。
-------------	------------------------	---	---

学校関係者評価

	指標	5段階評価	評価内容
I 教育理念・目標・方針	教育理念・目標が明文化され、公表されているか	A	学校の教育理念・目標・理学療法士を養成する基本方針は明確であり、それらは学校のホームページ、パンフレット、学生便覧等において記載されているが、理念の達成に向けて継続した努力が必要である。
	理念の達成に向けた教育方針への取り組み	C	
II 学校運営	理念に則った運営方針が示されているか	B	教育理念に則った運営方針を示す為の運営組織や意思決定機能は明確にされている。
III 教育活動	理念・目標に沿った教育目標が設定されているか	C	各年次における教育目標が設定され、シラバスにおいては到達目標等が明確に示されている。成績評価の方法は、学生便覧に明文化されている。
	成績評価を明確にし、適切な指導を行っているか	C	
	教員の質向上に向けての体制を整備しているか	D	研修会に参加した教員は、職員会議等を通じて他の教員に知識・技能を共有する場がある。また、各教員の個別面談を通して、各教員の教育指導の取り組みや目標等の話し合いが行われている。 臨床実習の実施は適切に行われている。支援体制については整備されているが、引き続き、適宜見直しや柔軟な対応が必要である。
	臨床実習の適切な実施と支援体制を整備しているか	B	

IV 学修成果	卒業生の就職率	A	学校宛ての多数の求人票の紹介により、それらが就職率に反映されている。就職説明会等も開催している。
V 学生支援	退学率の低減対策	D	チューター制度や個別面談を活用した学習等の支援が行われている。しかし、退学率の低減効果が十分に得られていないと見受けられるので、今後、学校生活における学生の不安や問題点の解消に向けて、不安や問題点が出て来る早期の段階での対応が必要と考える。また、教育指導や環境の見直し、改善が必要である。
	学生の学習面、経済面、健康面での支援体制を整備しているか	B	
VI 教育環境	教育に対応した設備の点検・整備を行っているか	A	学校として整備しておかなければならぬ法令に定められた備品等について、点検・整備がなされている。 また、照明設備を蛍光灯から LED に変更したことによって教室等館内全体が明るくなっている、教育環境の改善に繋がっている。
VII 学生の募集と受け入れ	適切な広報活動の実施 選考基準を明確にし、適切に実施しているか	B	オープンキャンパスに先ず来てもらうことが受験生を増やすことに繋がるので、集客方法を改善する必要がある。また、オープンキャンパスの開催内容について適宜見直しを図る必要がある。
VIII 財務	財務基盤の中長期的な安定性は保たれているか	D	財務の安定性を確保する為には、入学者の定員確保と退学者の低減が必須であり、今後の課題である。
IX 法令等の遵守	法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営が行われているか	A	法令や設置基準等に基づき、大阪府私学課へ基礎資料調査、大阪府保健医療企画課へ定期報告書を毎年提出しており、適正な運営がなされている。
X 社会貢献・地域貢献	積極的な社会貢献・地域貢献活動を行っているか	A	先ずは理学療法士養成の学校として、理学療法士の人材を毎年きちんと輩出することで社会貢献の一環を担っている。